

市民活動支援センターは、市民活動団体、社会に貢献しようとする市民を応援します

上尾市市民活動支援センター情報誌



むすびん

平成24年
1月
第3号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号

TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

「自転車のまち “あげお”」ステップアップ作戦

今年度の「協働のまちづくり推進モデル事業」に採択された「ぐるっとサイクリング同好会」の「自転車のまち“あげお”ステップアップ作戦」。昨年11、12月に中高年を対象とした自転車講座を開いたほか、自転車利用環境調査、安全に楽しく市内を巡るサイクルマップづくりなどを実施しました。



「中高年のための自転車の乗り方・楽しみ方講座」は市内3カ所で開き、毎回30人を超える受講者が交通法規や安全上の注意点を学びました。



【自転車を使った講習会の様子】

講座は、市内に本社・工場を持つブリヂストンサイクル（株）（BSC）も後援。講師を務めたBSC販売企画部の松森好男さんは、軽車両に属する自転車は原則、車道の左側通行であることや、交差点の正しい通行方法、走行上のルールやマナー向上など安全な乗り方について詳しく説明しました。

また、上尾中央総合病院の理学療法士による「自転車での健康づくり」の講座では、健康維持のための自転車の活用法、元BSC工場長の田村耕一さんの「自転車での楽しみ方」講座では、自転車の点検整備、安全な乗降などについて理解を深めました。

講義後に適正なサドル位置に調節してもらった女性は、「大変乗りやすくなり、参加して良かった」

と顔をほころばせていました。

震災や電力不足を背景にエコロジーな乗り物として関心が高まっている自転車ですが、事故増加という側面もあり、受講した皆さんは「交通法規を十分に理解することが、安全で楽しいサイクリングの第一歩」と実感したようでした。

利用環境調査は10月末と11月上旬の3日間、聖学院大学の学生の協力を得て実施。上尾駅東西6カ所で走行台数やマナー順守状況を調べ、信号待ちをしている人に利用状況を聞き取りました。



【交差点で実施した自転車アンケート調査】

サイクルマップは市内の名所旧跡を巡る東と西の2ルートを設定。各3000部を発行し、当センターほか市内公共施設などで配布しています。同好会サブリーダーの奥田昭さんは「実際に何度も自転車で走ってみて、安全で見どころの多い道を設定した」と話し、「上尾にこんなところが！」と再発見してもらえれば嬉しい」と期待を込めていました。

シリーズ 活動団体紹介



地域貢献と会員親睦を柱に幅広い生涯学習活動

あげおふるさと学園校友会

生涯学習の基本理念である「生きる喜びを分かち合える生涯学習」の一翼を担い、さまざまな企画を立てて、生涯学習活動を展開しているのが「あげおふるさと学園校友会」（以下：校友会）です。

平成15年に市教育委員会が主催した生涯学習講座「ふるさと学園」で2年間学んだ第1期生の有志が、「上尾市の活性化につなげていこう」と平成17年4月に設立。その後、2期生や一般市民も加わり、会員は現在65人を数えます。



校友会の活動は、地域貢献と会員親睦のために、多くの仲間と幅広い生涯学習事業を展開するのが特徴です。本年度は、谷中や神田川をめぐる歴史探訪や平和を考える講演会、夏まつりのボランティア活動などを実施し、年2回の広報誌も発行しています。このほか、パソコンや朗読など、関心のある分野を自主的に学ぶ定期的なグループ活動も行っています。

会長の須賀睦夫さんは、「仲間づくりができなくては、まちおこしはできない」との考えで、「退職して家にいる人などに外に出てきてもらって、仲間づくりの機会になるような仕掛けづくりをしていきたい」と抱負を語りました。

ふるさと学園校友会 会長：須賀 睦夫さん
電話：048-773-5400

哀愁漂う音色を奏で、懐かしい歌を合唱

ハーモニカグループひまわり

哀愁漂うハーモニカの懐かしい音色に合わせて、お年寄りが当時の情景やメロディを思い出しながら歌ったり、リズムを取ったり。「ハーモニカグループひまわり」は上尾市内を中心とした高齢者福祉施設を訪問し、年間約70の演奏会を行っています。代表の円谷トミ子さんは、『「また来てね、待っているよ」と言われるのがうれしい」とやりがいを語りました。

取材に伺ったこの日は、介護老人福祉施設「しのめ」の利用者約20人の前で演奏。6人のメンバーは、ポケットがたくさんついたエプロンスカートから音程の違うハーモニカを次々と取り出し、「上を向いて歩こう」や「銀座カンカン娘」など16曲を、歌を交えて演奏しました。曲によっては60センチの長さのハーモニカも登場し、深みのある和音が会場に響きました。

円谷さんによると、ハーモニカの良さは、持ち運びしやすく、合唱に合わせてやすいところ。レパートリーは約350曲あり、季節や行事に合わせて選曲するそうです。

現在、会員は12人。メンバーの女性は「お会いする方々から学ぶことも多い。家族の応援もあり、元気な限りいつまでも続けたいです」と話していました。

ハーモニカグループひまわり 代表：円谷 トミ子さん
電話：048-775-0087



目指せ！地域活動の達人

～運営力、コミュニケーション、広報力を学ぶ～



市民活動支援センターは、これから地域活動のリーダーを目指す人、すでに活動されている人などを対象とした『地域活動指導者（ボランティアリーダー）養成講座』を昨年10月1、8、29日の全3回で開催しました。組織運営を円滑に進めるため、マネジメント能力の向上やグループが元気になるコミュニケーション術、魅力的にアピールする方法を各回約40人の受講者に楽しく学んでいただきました。



【吉永鴻一さん】

初回「運営力アップ」の講義では、元八王子市市民活動支援センター長の吉永鴻一さんが、“協働”や“あたらしい公共”の考え方の必要性、団体づくりの留意点などを説明した後、ワ

ールドカフェを実施。受講者らはカフェのような楽しい雰囲気の中で、テーマ「あなたも私も共に輝くピッカピカ作戦～一人ひとりが輝く団体運営～」について意見交換を行い、講師の講評に耳を傾けました。

講義後の交流会は、大正琴の音色に合わせて合唱したり、吉永さんの音頭で踊ったりと、終始和やかなムードで行われ、交流の輪が広がりました。

2回目の「サポートまなびすと上尾」の大成達夫さんによる「コミュニケーション」の講座は、テーブル単位の自己紹介から始まりました。大成さんは、グループが元気になるコミュニケーション術やメンバー間で楽しく意見交換ができる場づくりについて講義。動作やしぐさの大切さ、リーダーの重要性



【大成達夫さん】

などについて、豊富な経験

を基に分かりやすく解説しました。後半はワークショップ形式で、「砂漠で遭難した場合、生き残るためにどのような品物が重要か順位を決める」というユニークな設定のもと、話し合いました。時間がやや短く、まとめるのに苦労しつつも、コミュニケーション力を発揮し、各グループとも効率よく結論を導きました。

3回目は、さいたま市市民活動サポートセンター長の



【ワールドカフェ方式でグループに分かれて話し合う受講者】

東一邦さんによる「広報力アップ」の講座で、長年、編集の仕事にも携わっている東氏は、チラシづくりについて、経験談とユーモアを交えながら講義を展開。東さんによると、チラシは読む人のためにつくるもので、興味と関心を引くような“キャッチコピー（見出し）”と“ボディコピー（本文）”をつくれれば、詳細も読んでもらえる、ということでした。



【東一邦さん】

後半は、各自でコピーづくりを体験し、良いと思う作品に投票。プロ顔負けのキャッチコピーで多くの票を獲得した人もいました。

各回とも定員を超える応募があり、熱気にあふれていました。受講者アンケートには、「初めてのワールドカフェでやり方がよくわからなかったが、活発な意見がたくさん出てよかった」、「コミュニケーションは団体運営の基本であり、その重要性を再確認し具体的なノウハウを知ることができた」、「読み手のためにつくるという視点が欠けており、今までのチラシ作りが不十分だったと気づかされた」などの声が寄せられました。



情報ファイル



ポイント解説 Q&A

Q. なぜ市民活動団体と市との協働が必要なのですか。

市民サービスをより豊かに、効率的なものにするため、市民活動団体と市が互いの立場、特性を認めて役割分担し、課題解決に向けた取り組みを行う一連の協力関係が「協働」と定義されています。

少子高齢化、情報化の進行により、市民ニーズは多様化し、福祉や環境など様々な分野で、行政の均一的なサービスでは対応できない局面が出てきました。

これらニーズに対応するため、「協働」という手法を用いることで最大限の効果が見込まれる課題に対しては、それぞれの特性を生かした対等なパートナーシップを築き、協働を積極的に進めていく必要があります。

お知らせ

「平成23年度上尾市協働のまちづくり推進モデル事業」に採択された3団体の事業報告会を開催します。市民活動に興味のある人や来年度の応募をお考えの団体など、どなたでもお越しいただけます。入場無料。

日時：平成24年3月17日(土) 午後2時から

場所：上尾市コミュニティセンター 視聴覚室



イベント ボランティア掲示板

素敵なお花と触れ合いませんか？

季節の花の優しい香りや、可愛らしさに癒されながら仲間と一緒に、楽しく花と触れ合う和気あいあいのサークルです。

フラワーサークル『百花』(MOKA)

会場：上尾市市民活動支援センター 会議室

日時：木曜日 月2回開催(自由参加制)

入会金、受講料：無料(お花など実費のみ)

問合せ、連絡先：048(290)6828

受付は月～金9:30～18:30



活動団体広報誌などをお寄せください

当センターでは、登録団体の活動内容を広く市民の皆様にお知らせするため、会報誌や広報誌をファイリング、閲覧します。発行ごとに2部お寄せください。

編集後記

今年の干支は「辰」、その特徴は正義感と信用だそうです。皆さまに愛され、信用されるセンターにしようと、スタッフ一同、正義感を持って頑張ります。

新しい年が穏やかで希望に満ちた年でありますように☆本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

次号は4月発行予定です。(貴)(秀)(麻)



皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています！

発行 上尾市

編集 上尾市市民活動支援センター

開館日：火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時)まで

休館日：毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話：048(778)1810 FAX：048(778)1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>



【案内図】



情報誌タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつきたいという思いを込めています。